

模擬講義 派遣講師紹介資料（東京薬科大学）

氏名	藤田 恭子
学科名	医療薬学科
教室・研究室名 職位	創薬基盤科学・講師
タイトル	創薬モダリティ開発の革新素材??イオン液体の可能性
講義内容	<p>水・有機溶媒に次ぐ“第3の液体”と呼ばれる「イオン液体」について聞いたことがありますか？陽イオン（カチオン）と陰イオン（アニオン）だけで構成される液体の“塩”です。イオンの選び方によって、液体の性質を調整できるという特徴があります。</p> <p>最近、イオン液体を利用した創薬開発の可能性が注目されています。難溶性の医薬品有効成分の可溶化や液体化、さらに溶解した有効成分の経皮・経粘膜送達の促進など、イオン液体を利用した創薬研究について紹介します。</p>
自身で持参する物 ※持参・該当するものに☑	<input checked="" type="checkbox"/> パソコン（OS： <input checked="" type="checkbox"/> Windows ・ <input type="checkbox"/> Mac） →接続ケーブル（ <input type="checkbox"/> RGB ・ <input type="checkbox"/> HDMI ・ <input checked="" type="checkbox"/> どちらでも可） ※Macをお使いの場合は、ご自身で接続ケーブル（変換コネクタ）をお持ちください。 <input type="checkbox"/> その他（実験機材一式）
会場で準備いただきたい備品等 ※必要なものに☑	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクター・スクリーン <input type="checkbox"/> その他必要な物※（ ） ※会場・物品によっては準備が難しいことがあります。
その他伝達事項	